

(別紙5)

整理番号 2018P-060
補助事業名 平成30年度 全国的なスポーツ大会の開催補助事業
補助事業者名 特定非営利活動法人 九州車いすテニス協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

車いすテニスを通じ日本国内及び外国の身体障害者間のスポーツ交流・相互理解を深め、さらには車いす障害者の基礎体力・精神力の構成をはかり、障害者に勇気と希望を与え、社会に参加する意欲を大いに喚起することを目的とする。

(2) 実施内容

第34回飯塚国際車いすテニス大会 (Japan Open 2018) の開催

<https://kwta.japanopen-tennis.com/>

今年で34回目を迎える本大会は、障がい者スポーツ初となる天皇杯・皇后杯が下賜されたことにより、メディアに連日取り上げられ、例年以上の盛り上がりを見せた。

世界トップレベルの選手を含む15か国1地域より、計97名の選手が参戦し、杯を賭けた世界最高レベルの試合は、車いすテニス競技者のみならず、県内外より観戦に訪れた延べ6200名の人々を感動させた。

女子シングルスでは兵庫県代表の上地結衣選手が大会6連覇を果たし、初の皇后杯受賞者となり、応援に駆け付けた沢山のファンを沸かせた。

地域のボランティア延べ2000名が大会を支える「イイツカ方式」はTVドキュメンタリー番組としても取り上げられ、多くの視聴者に車いすテニスという競技のみならず、地域の方たちのホスピタリティを紹介することができた。

車いすテニスという障害者スポーツを通して、関わる全ての人々の交流や相互理解を図ることができ、また、地域活性化に繋がった。

東京パラリンピックへの気運が高まる中で本大会は今年もテレビで生中継され、また、多くのメディアからも取材を受け、全国に車いすテニスというスポーツの面白さを広めた。

また、技術向上を目指すアジアの選手の活躍も目覚ましく、ランキングを上げた。



国枝慎吾選手を始め、世界のトッププレイヤーが参戦



近隣の大学生を始め、延べ2千名のボランティアが運営を支える



外国人選手と小学生観戦者との交流



天皇杯は Gordon Reid 選手に、皇后杯は上地結衣選手に贈られた。



受賞者とボランティア

2 予想される事業実施効果

海外の強豪を相手に世界ランキングトップを争う日本人選手が活躍し、また東京パラリンピックへの気運が高まる中、天皇杯・皇后杯の存在が、車いすテニス選手になお一層の参加意欲をかきたて、大会の注目度が益々あがることが予想される。国内外問わず、若い世代を中心に本大会を目指す車いすテニスプレイヤーの人口増加が期待される。特にアジア選手の昨今の活躍は目覚ましく、本大会を目指すことで、技術向上につながり、それぞれの国での障害者スポーツの関心度も高くなるであろう。

また、本大会の運営の柱となるボランティアが世代を超えて共に大会を支えるこ

(別紙5)

とにより、障害者間のみならず、地域間の相互理解を更に深めていくことができると考えられる。

3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの

第34回国際車いすテニス大会 (Japan Open 2018) パンフレット (左)

第34回国際車いすテニス大会 (Japan Open 2018) 報告書 (真ん中・目次)



4 事業内容についての問い合わせ先

団体名: トクテイヒエイリカツトウホウシン キュウシュウクルマイステニスキョウカイ
特定非営利活動法人 九州車いすテニス協会

住所: 〒820-0011

福岡県飯塚市柏の森6-1

代表者: リン・チョウ アソウ ユウカ
理事長 麻生 泰

担当者名: ヤナセ ヨウコ
柳瀬 葉子

電話番号: 0948-25-7144

FAX: 0948-25-7520

E-mail: info@japanopen-tennis.com

URL: <https://kwta.japanopen-tennis.com/>